

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

名 称	第12回 第4分科会会議事録	場 所	新宿区役所第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成17年12月9日 午後6時40分～午後8時50分	記録者	学生補助員 洪仙希、三好加奈子
		区担当	企画政策課 熊澤

出席者：33名

(区民委員：27名 学識委員：2名 区職員：3名 傍聴：1名)

■配布資料

- ・第12回第4分科会会議進行次
- ・第11回第4分科会会議事録
- ・東京電力環境ハイライト2005(資料)

■進行内容

- 1 開会
- 2 本日の議事
 - (1) 班長会議報告(12/2)
 - (2) 環境に対する企業の取組—東京電力の取り組みを紹介—神野委員
 - (3) 中間発表会第1回WGの報告について
 - (4) 中間発表会に向けた第4分科会での整理
「新宿区の環境の未来像を描こう～各班からのテーマから考える～」
- 3 事務局からの連絡事項
- 4 閉会

■会議内容

[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員

1、開会

○：これから第12回、第4分科会の会議を始めたいと思います。最初に資料確認ですが、お手元にお配りしたとおり、本日は少なめでして前回の会議録と今回の進行次第、そして後ほどお話していただきます。環境に対する東京電力の取り組みについての冊子等を配付してございますので、ご確認ください。それでは、本日の会議を進めていきたいと思います。会議の進行についてですが、まず班長会の報告をしていただき、その後、神野委員より、環境に対する企業の取り組みということで、東京電力の取り組みについてお話いただきたいと思います。次に、第1回ワーキンググループについて、石塚委員より、ご報告いただきます。次に、ワーキンググループを行ない、最後に事務局からの連絡をして閉会となります。おおむね2時間を目途に進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、班長会の報告移ります。班長の皆さん、よろしくお願いいたします。

2、本日の議事

(1) 班長会報告

- ：環境教育班の神野です。今日は、班長の加藤が欠席のため、前回の班長会議に参加いたしました私より、報告させていただきます。先週12月2日の18:30より3時間、12人で班長会議を行ないました。具体的な内容は、今後の第4分科会をどのように進めていくか、各班の進捗状況、中間発表に向けて、今後のグループワークについて話合いました。この場では、各班からの情報提供ということでご報告いただきたいと思います。
- 資源循環班：皆さんの町では恐らく資源回収は集団・行政回収の2本立てでやってらっしゃると思います。この二つではコストが全然違います。集団回収はキロあたり11円ぐらいで済みますが、行政回収ですと35～39円かかってしまいます。しかも集団回収の方が、質の良い資源が集まるということで、なんとかしてこれを拡大して欲しいと思うのですが、現状では集団回収の世話人が高齢化してきたということと、集積所が少ないということで、先細りになっています。それで目黒区ではステーション回収を行なっており、ごみの集積所を利用して、毎週資源回収し、民間業者と町会でやっているということなので、そのお話をお聞きしてきました。現在目黒区では、82町会の8割、67町会で実施しているそうです。報奨金ということで、新宿区ではダンボールとアルミ缶以外はキロ当たり6円支給されていますけれども、目黒は全ての資源についてキロ単位一律5円が報奨金となり、町会に入ります。平均的な町会で年に100万円ほどの収入があるということだそうです。目黒区は町会と業者さんの仲立ちのみ行なっているだけで、直接は関わっていないということです。新宿区でもこのようなやり方ができないかということ、私たちの間でも考えていきたいと思います。なるべくごみにかかる費用は少なくしたい、そして皆さんの夢を実現できるようにしたいと思っています。
- 緑化班：私どもは12月6日火曜日の午後に赤坂見附の迎賓館近くに9名集まりました。迎賓館を周り、東宮御所の脇を通り、南本町の公園、明治記念館へ行き、外苑のイチョウや新宿御苑などを見て、四ツ谷地域センターにて反省・議論を行ないました。見て回った後なので、考えがいろいろめぐり議論が弾みました。南元町公園は、かなり広くて、子供たちがボールを使って遊べるような場所があるのですが、やはり普通の公園のようにいろいろ規則があり、ボールを使うと他の方に迷惑になるなど書いてありました。せっかく遊べる敷地があるのだから、子供たちが遊ぶのに使わせてあげられればという話をしました。いくつかの広い公園には子供が遊べるような専用の場所や犬の散歩をすることができますが、多くの公園ではフェンスなどで囲まれ、限られた時間のみ利用することができ、公園の利用方法が統一されていません。公園をうまく使えるように、またお互いにゆずりあった利用ということが必要だと思います。
- ：これで班長会議の報告を終わります。
- ：班長の皆さん、ご苦労さまでした。では次に環境に対する企業の取り組みということで、東京電力の取り組みを神野委員のからご紹介いただきます。神野委員、お願いいたします。

(2) 環境に対する企業の取り組み（東京電力 神野委員）

(パワーポイントによる説明)

- ：東京電力の環境に対する取り組みということで、資料を用意いたしました。皆さんにお配りした冊子は、「電気をつくること、環境も守ること」というものですが、中身が多いので、そのエッセンスをPowerPointでまとめましたので、こちらをご覧ください。

また、15分間お時間をいただいておりますが、短いので、ご意見・ご質問出るとは思いますが、その場でお答えできる時間はないと思います。そのために用紙を用意させていただきました。もし何かお気づきの点ございましたら、メモをお願いします。後ほど、お答えさせていただきます。それではさっそく始めさせていただきます。

東京電力として、やはり環境問題への取り組みは大きくございますが、やはりその中でも大きなところからみると、地球温暖化、大気汚染、電気の環境をどうやっていくのかについて、そして資源循環社会や自然環境保全についてお話させていただきます。地球温暖化の現象で懸念される影響は、海水面が上昇するとか気候が変動するなどといろいろ言われております。地球温暖化は皆さんもご存知かと思いますが、やはりCO₂による温室効果といわれる効果で、地球規模で気温上昇が進み、それによっていろいろな環境破壊、生態系へ影響が及んでくるということが現在、懸念されています。ただ、学術的にはどれだけ影響があるかということは、はっきりとしていないという説もあります。

次の画面ですが、世界のGDPあたりのCO₂排出量についてですが、日本はこれではトップクラスでして、一番低いということが言えます。ここにはアメリカ・イギリス・ドイツ・フランスと載っていますが、いずれにしても日本は世界のトップレベルの活動をしているということは、皆さんに意識していただけたらと思います。フランスが他と比べて低いのが気になりますが、これは原発の割合が高いということも言えるのではないかと思います。次に、東電はどのような取り組みを行なっているかということですが、大きく分けてここに書いてあることとなります。東電は電気を供給しています。発電するというのが一番の主務となっていますので、ここから見ていきますと、やはり化石燃料を使用しない、CO₂を出さないということですね。このことが我々として環境活動に一番貢献できる点だと思います。すでに40年くらい前から行っています原子力発電所の利用、これが大きくクローズアップされています。しかしながら当時、原発を始めた時にはCO₂対策ではなく、油がなくなるから将来のエネルギーをどうするかということが懸案になっています。ただそれが現在においてはCO₂を抑えます、地球温暖化を防止します、という点が大きな使命となっているような感じがします。それから当然ですけれども、新しい技術でできるだけ自然エネルギーを使うこと、そのための後押しということも使命であると実感しています。とは言っても、現在火力発電所を多く運転してまして、これには化石燃料・石油などいろいろ使っていますが、それに対しましては、この燃料使用量を抑えるなどの対策も行なっております。それからお客様の対策になりますが、できるだけ高効率、少ないエネルギーでエネルギーをうまく使うということが挙げられます。エコライフについては東電でも行なっております。

次に一般的な話ですが、発電種別ごとのライフサイクルCO₂排出量については、石油・石炭・LNG・

LNGコンバインドの順に高くなっています。かなりの量のCO₂が排出されています。これらに比べ、太陽光・風力などは少ないのですが、やはり原子力・地熱・潜熱が低い数値となっています。原子力はCO₂自体を排出しませんが、これらの設備を作る、運転する、運用するために必ず使っていますので、単位あたりのCO₂は排出されてしまいます。そのような意味合いです。

CO₂を少なくするためにということで、例えば、石油・火力で運転する場合よりもCO₂を半分に減らせるということで、自然エネルギー・水力・LNG、そして一番貢献度が高い原子力発電所を利用しております。

他にどのような発電所があるかと言いますと、新エネルギーとして、東電で運転をしています八丈島地熱発電所があります。火山のエネルギーを使った発電所です。5年くらい前から運転しています。それから同じく八丈島風力発電所（新エネルギー）がありまして、風力発電所は、皆さんご存知だと思います。だいたいどれくらいのエネルギーをご家庭に供給できるかと言いますと、風力発電所ですと、普通の一般的なご家庭でだいたい400～500件、大きいものですと1,000件と考えていただければと思います。その程度であれば風力発電所で供給できるものと思います。

最近新宿区でも多いのですが、太陽光発電がいろいろなお宅で行なわれています。どれくらいの量を供給できるかと言いますと、一般的な家庭で10㎡、約3坪の太陽光発電パネルで家の3分の1の電力をまかなうことができます。太陽光発電を推し進め、原子力に置きかえられないかという話がありますが、原子力発電所では一基あたり、発電所のひとつの発電装置で、100～140万キロワット発電することができます。

それを実際に敷地面積に全部並べたときを考え、山の手線の（内側の）面積に太陽光パネルを敷き詰めれば1.5倍の敷地が必要になります。風力発電所の場合、さらに多く必要とし、琵琶湖と同程度の面積が必要になります。

東電では家庭におけるサポートもしており、私自身はあまり詳しくないのですが、エコファミリー、エコオフィスなどでいろいろなご協力をさせていただいております。特にグリーン電力基金は、お客様に一口単位で入ってもらいまして、それと同様の額を東電で出して、新エネルギーの開発と補助金にさせていただいております。では、家庭用品ではどのようなものがあるかと言いますと、できるだけ少ないエネルギーで効率の高い水を得るヒートポンプ式給湯器「エコキュート」を推進しています。簡単にいいますと、お湯利用が、電気1に大気エネルギー3で可能となり、つまり100円分の電気料金で400円分の利用をすることができます。その分CO₂の削減に繋がっています。

続いて大気汚染防止対策の概要についてお話をさせていただきたいと思います。良い燃料を使うなど、設備面でもいろいろな対策を行なっております。SOX、NOX 排出源単位の国際比較をいたしますと、世界に比べて日本の割合はかなり低く、日本はかなり努力していることが分かります。リサイクル社会という場において、東京電力では産業廃棄物を多く出しておりますが、それは99%リサイクルされており、2005年までにはリサイクル率100%に上げるということになっています。具体的には、コンクリート電柱のリサイクルです。再度コンクリートに戻して、他の建築資材に使っています。それから、めずらしいものでは発電所の中で水を取り込む際に付着する貝

を利用して、エコセメントというものにして処理しております。またごみの分別や自然保護の取り組みとして、東電で持っている森での自然観察会や教職員向けの環境教育も行なっております。環境グループワーキングと考えてよろしいと思います。

最後になりますが、尾瀬の環境を守るということをお話させていただきます。尾瀬は東京電力がほとんどの土地を所有しています。知っていらっしゃる方は少ないと思います。もともとはここに発電所をつくるという話がありました。昔は木道もなく、来た人々によって荒らされていました。実は尾瀬の湿原は1年で1mmの土が堆積していきます。1cmつぶれたら元に戻るまで10年かかります。このために木道の敷設作業いたしまして、荒廃した湿原の回復作業を行いました。またブナ植林や草刈などの活動も行なっています。古くなった尾瀬に敷設している木道を捨てるのではなく、木の中の方はきれいなのでパルプの原料としてリサイクルする「尾瀬木道エコペーパー」も開発しました。今かなり力を入れている取り組みです。最近できた「尾瀬ブランド」というものがありまして、尾瀬を象徴する水芭蕉や木道をモチーフとしており、最近いろいろところで使われるようになりました。秋の尾瀬は非常にきれいです、まだいらっしゃったことがない方はぜひいかれたらよろしいかと思います。以上でございます。ありがとうございました。今日は時間の都合上厳しいと思われそうですが、ご意見などございましたら、ぜひご用意いたしました用紙に書いていただけたらと思います。また、東電では皆様の声をお客様の声として反映させることになっています。よろしければ私のほうにお返してください。その後どうしても返事が欲しいということでありましたら、住所・氏名を書いて提出していただけたら、きちんと何らかの形でお返事させていただきます。

(3) 中間発表会第1回WGの報告について

○：それでは次に、中間発表会第1回WGの報告に移りたいと思います。よろしく願いいたします。

●：(小宮) 第1回WGですが、どうしても出席できませんでしたので、代わりに報告していただきたいと思います。よろしく願いします。

●：(石塚) 第1分科会から第6分科会のWGメンバーの集まりが11月29日にございました。その場で出たお話とそれを受けて、第4分科会の班長会議で検討事項の話し合いをさせていただきました。本日はその2日間のご報告をさせていただきます。まず、WGの設置についてですが、第4分科会はこの3名ですが、他の分科会も大体2~4名ご出席いただいています。2月19日の中間発表会に向けてこのWGで打ち合わせを行っていくということなのですが、中間発表会まで時間がなく来週までには中間発表会の流れを決めなくてはなりません。本来ならば各分科会でお諮りするべきですが、班長会議で中間発表会の大枠の進行についてお諮りをしたいと思います。WGのメンバーに班長会議で話しあったことをもとに、中間発表会の進行についてはお任せいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。次回第4分科会にて、WGで決定した事をご報告いたします。

前回WGでは2月19日の中間発表会の位置づけについて話し合いました。位置づけとしましては第2回目の全体会と位置づけています。また中間発表会開催の目的ですが、

- ① 区民会議の提言書作成に向けた中間発表として開催する。
- ② 他分科会の検討状況を知り今後の参考とする。
- ③ 区民会議参加者以外の方から意見を収集する場とする。

また、

- ④ 他分科会とのコミュニケーションを図る場とする。

を付け加えれば良いのではと話し合っております。目的につきましては次回のWGで決定したいと思います。

中間発表会の全体の流れとしましては、

- ① 中間発表会の位置づけ、目的、区民会議の役割、各分科会の検討状況を概括的に説明
- ② 区長のご挨拶
- ③ 分科会の発表 各分科会 20分ずつ

発表方式は各分科会で工夫（パソコンを使う、紙を配って説明するなどは各分科会で決めていただきたいと思います）

意見の受取方法としましては、他分科会からは、

- ① 発表会後に各分科会のブースを設置して意見交換を行う（ポスター・セッションのような方法も良いのではという案もあります）
- ② お互い参考にできるように中間発表会後も関係ある分科会同士の場を設けてはどうかなどの案も出ました。

区民会議に参加されていない一般区民からの全ての意見に対し、その場ではなかなか答えられないので、紙を配って書いてもらう方式が出ています。

- ① あまり細かい意見を言われても対応ができかねるので、問いを大きくゆるくかけてはどうかという意見もあります。例えば20年後の新宿についてどう思いますか、など。
- ② 分科会ごとに発表資料にアンケートを加えて答えてもらうという案も出ています。

また、若い年代の意見をどう受け取るか、HPを活用する方法なども考えなければいけないという意見が出ています。まだ意見を収集する方法については決定していないので次回以降検討していきたいと思います。

また、中間発表会の事前広報ですが、区報や各区民会議委員のロコミなどの案ができました。これもまだ決定していませんので、今後決めていきたいと思います。

以上が第1回目のWGとそれを受けての班長会議のご報告でした。質問、意見などございますでしょうか？

- （質問）：各分科会発表時間が20分しかありませんが、それは第4分科会のテーマを発表する上で可能でしょうか。
- （回答）：発表の方法は各分科会で工夫する、となっております。時間ですが、各分科会20分ですが、6つ分科会がありますので20分×6分科会で2時間もかかります。発表時間は2時間が限度だと思います。全体の枠から均等に割り振って20分が最高だろうということで決定い

たしました。

- （質問）：しかし、発表はそれで可能でしょうか。
- （回答）：発表できない分の資料はその場で皆様にお配りするなど、発表方法を各分科会で工夫するというようになっております。
- （質問）：他の分科会も含めて、どの程度のレベルの中身の発表にしていくのか各分科会ですり合わせをするべきだと思います。中間発表会は提言に向けての折り返し地点なので、第1～第6分科会までレベルが違えば後々まとめる上で大変になってくると思います。二点目は一般区民、各分科会などから出た意見は各分科会でどう反映させるのかについてですが、パブリックコメント的に発表するのでしょうか。また、その手続きが発生する場合は出た意見の数にもよりますが、丁寧に対応しなければならないと思います。また、第4分科会で出た意見を他の分科会にどうフィードバックしていくのかという点も気になりました。
- （回答）：中間発表会を何のためにやるのかと申しますと、第1～第6まで分かれて、また、第4はその中でも6つに分かれましたが、グループ単位としての発表です。20分という時間は分科会同士、中身に差があるかもしれませんが、各分科会20分の中でどう発表するかを考えてそれでもどうしても20分ではできないという分科会があれば調整しようと決まりました。第4分科会もどう発表するのかを考えながら今まで分かれてやってきたことを一つの方法にまとめていくということが重要になってくると思います。質問の内容は次回のWGに是非加えたいと思います。12月末までには何とか形にしていきたいと思います。
- （質問）：12月はあと1回しかWGはないのではないですか。
- （回答）：予定では2回ありますので、12月12日に各分科会の意見を持ち寄り大筋を決め、次に集まった時までには中間発表会の流れを何とかまとめたいと思います。
- ：他にございますか。よろしいでしょうか。
（意見なし）
- ：WGのみなさんお疲れ様でした。
- ：先ほどのご質問にもありました通り、そろそろ第4分科会の中身についてまとめていかなければならない時期になってまいりました。それでは、次第の(4)に移りたいと思います。吉田先生、お願いいたします。

（4）中間発表会に向けた第4分科会での整理

「新宿区の環境の未来像を描こう～各班のテーマから考える～」

- ◎：皆さん、こんばんは。12月に入りまして、第4分科会でどのようにまとめていくのかを考える時期だと思います。前回吉野先生から、議論が細かくなり過ぎていたので一歩引いてみて提言の内容を考えてみてはどうかというアドバイスもありました。前回の班長会議でも話し合いましたが、皆さんそれぞれ調査等を行うに従って問題について地に足の着いた状態になってきていると思います。今日は共通のテーマで新宿区の環境はどうあるべきか、各班のテーマに基づいてご議論していただきたいと思います。今日の議論の結果を

次回の班長会議に持ち寄ってまとめてみようということになりました。

今日のグループワークのまとめ方ですが、各班にお任せしますので活発にご議論していただきたいと思います。吉野先生、大体この流れでよろしいでしょうか。それでは、皆さんよろしくお祈りします。

19:35～20:35 グループワーク

◎：皆様、そろそろよろしいでしょうか。班長の皆様、一言で今日のまとめをお願いいたします。まず、緑化班からお願いいたします。

●：親子で遊べるような水辺の公園、新宿の皆のための公園を作りたいと話し合いました。

◎：ありがとうございます。それでは、資源循環班、お願いします。

●：コストのかからない、環境負荷の少ない資源循環の輪を考えています。20年後の新宿を考えた時に、やはりごみの削減目標値を決めようということになりました。それを達成するために、分別品目を増やすことやごみの有料化も一つの案ではないかと話し合いました。しかし、ルールができて守らない人がいますし、外国人が多く人口が流動的であることを考えて、周知徹底するには、お知らせは目で見てすぐわかるようなものであること、回収は民間に任せ、分別指導などを行う、区民を組織化してごみの分別を徹底してはどうかと話し合いました。

◎：ありがとうございます。それでは、エコエコ班、お願いします。

●：旧来の商店街などの組織に加えて通過者である外来者を取り込んでコミュニケーションをすることで新しい価値観を生み出して環境と経済の融合を目指したい。例えばエコマネーを用いて共通の評価軸を設けたいと話し合いました。

◎：ありがとうございます。では、環境教育・学習班、お願いします。

●：目標として「未来観光都市新宿」を目指すとなりました。環境、ごみ、みどり、景観などを改善しなければ達成されないものです。そういうものを掲げていれば自然と皆が自発的に努力していくことを目指そうというのが今日の結論です。

◎：ありがとうございます。それでは、環境と美化班、お願いします。

●：20年後の絵は書けませんでした。車の流入の制限、車の車線を自転車、電車の専用レーンに使う、業務用建物の美観、行政が補助するのは当然だが住民が主体的に関わることで環境意識も向上するのではないかと、それを広めることは住宅地でも商業地でもできるのではないかと話し合いました。

◎：ありがとうございます。最後に温暖化班、よろしくお祈りします。

●：新宿区の環境の未来像をハード面、ソフト面、ハート面から考えました。細かいことはまた資料を見ていただきますが、私たちの班では遠藤さんが一番若くて21歳ですが、彼が41歳になった時どのような生活を送っているのかを描こうということになりました。

◎：遠藤さんが私と同じくらいの年の時に20年ということですね。第4分科会には幅広い年齢層の方が揃っていますので、良い提言ができると思います。今日は皆さん短い時間でしたが、ありがとうございます。今日の結果は班長会で話し合った後、次の第4分科会でどのように

まとめていくのかを話し合っていければよいと思います。それでは、皆さん、ありがとうございました。

3、事務局からの連絡事項

○：皆さんお疲れ様でした。次回の日程ですが、

12月23日（金）13：30～15：30 区役所第1分庁舎 7階研修室で行います。

班長会ですが、

12月19日（月）18：30～20：30 交流の場にて行います。班長の方、よろしくお願いいたします。

WGですが、

12月12日（月）18：30～20：00 交流の場にて行います。

以上で事務局からの連絡事項は終わりですが、皆さんから何かございますでしょうか。

（発言なし）

それでは今日はこれで終了いたします。皆さん、お疲れ様でした。

4、閉会